

目標達成計画

作成日: 平成 28年 4月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居者の身体状況や認知症の進行により外出機会が減ったように感じる。	日常生活での食材の買い物や地域環境を活かし散歩に出かけるなどする。	平成28年度の事業所目標を「外に出よう」とし、毎日の買い物や散歩、職員数を多く配置する日を作り、外出の企画を実施していく。	6ヶ月
2	18	細かなところでまだまだ職員からの一方的な介護を感じる。業務が優先してしまい利用者に寄り添い、共に何かをすることがまだまだ少ない。	共に生き暮らしていくために、その人その人を知り、職員も成長していく	職員教育、職員間での話し合い。毎月の会議で検討しその人その人のできることなど検討し実践していく。暮らしシートを使用し再アセスメントしていく。	6ヶ月 (毎月)
3	33	終末期における体制不足がある。文書、職員への教育等。	終末期、看取りケアの質向上	看取り委員会を立ち上げ、文書作成や職員教育に力を入れていく。まずは、委員で検討し実施する順番等を検討し実施する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。